

2026年度 大私教 夏季教育研究集会

アメリカとイスラエルによる国際法違反のイラン攻撃、高市政権による「台湾有事」発言、国家情報局設置「スパイ防止法」、「国旗損壊罪」の制定策動、さらに憲法9条改定など、「新たな戦前」に向けて、着々と戦争準備が進められています。また、教育基本法違反と断定された同志社国際高校辺野古沖転覆事故を口実にした露骨な私学教育への介入など、「平和を学ぶ」ことそのものが脅かされる情勢になっています。

私たち教職員組合の先輩たちは、先の侵略戦争に「教育」をもって加担し、多くの教え子を戦場へと送り込んでいった痛苦の反省を胸に刻んできました。私たち戦後生まれの教職員は再び送ってはならない「戦場」と「戦争」のリアルを知りません。今夏の教育研究集会では「戦争と平和、教育の果たす役割、とりわけ私学教育の自由とは何か」を問い、学び合う機会にしたいと考えています。

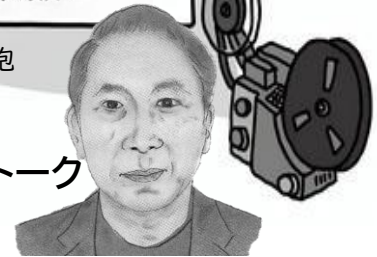
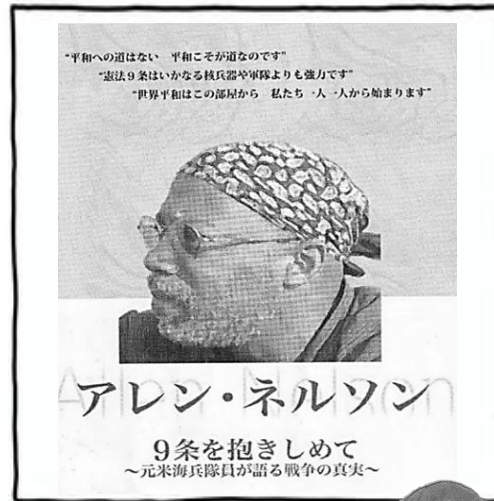
記念上映とトーク

「戦場」を知らない私たちが アレン・ネルソンから学ぶこと(仮題)

講師 **阿部裕一さん**(ドキュメンタリー映画監督)

プロフィール: 1958年生まれ。読売テレビ在職中、沖縄戦の悲劇を描いた『戦場の子どもたち』や原爆をテーマにした『かあさんと呼びたい』『5000人のカルテ』など多数のドキュメンタリー番組を製作。

放送文化基金賞優秀賞、関西ディレクター大賞、坂田記念ジャーナリズム賞グランプリなどを受賞。今回上映の映画のもとになるDVD『9条を抱きしめて』も製作した。



日時 **6月20日(土)15時~18時15分 開会全体会/上映&トーク**

※夕食後は商大正門前のU-コミュニティホテルで分科会と各種交流会

(21時過ぎから、「夏の夜のつどい(大交流会)」)

21日(日)9時~12時 分科会/12時10分~30分 終わりの会

会場 全体会・記念上映&トーク 大阪商業大学ユニバーシティホール蒼天(正門入ってすぐ左手の建物)

夜の分科会・交流会・宿泊 U-コミュニティホテル(河内小阪駅徒歩3分大阪商大正門から徒歩2分)

21日(日)分科会・おわりの会 大阪商業大学6号館

会場はいずれも近鉄「大阪難波」から準急・区急で直通12分、

JR「鶴橋」から近鉄「鶴橋」乗り換え7分、奈良線「河内小阪」駅下徒歩5分

参加費 **参加のみ 1000円(資料代込み)**

※夕食に「荒本弁当」の美味しいお弁当

「デラックス惣菜弁当」(750円)の注文を受け付けます。

参加申し込みは
QRコードから➡



宿泊 **シングル8900円、ツイン6455円、トリプル6500円、和室5920円**
(朝食ビュッフェを希望される方は個別にホテルに申し込み。1000円)

※分科会は各校からのレポート報告をうけ、討議し、その成果と課題を学び合います。「職場の要求と組合活動」「HR・行事づくり」「授業づくり」「生徒の自主活動」「これからの公費助成運動」「子どもの命と健康を考える」等

※2日間とも保育を実施します(当日用の子ども保険500円に加入のため、事前の申し込みが必要です)

※両日とも梅書房による政治や社会、民主主義、ケア、ジェンダー、民主主義、教育関係などの書籍や絵本などの販売があります。

主催 大阪私学教職員組合 参加申し込み&問い合わせ 06-6763-3201 村井まで